

## 第2回坂小学校あり方検討会 会議録

- 日 時 令和5年3月13日(月)午後7時00分～午後7時40分
- 場 所 坂小学校2階パソコン室
- 出席者  
(委員) 13名(欠席 勝又誠委員・細井要委員・宮澤正美委員・高梨祥史委員)

(説明者他)

事務局：鈴木坂小学校校長、佐藤坂小学校教頭、渡辺学習環境整備統括監、  
杉山教育総務課長、中村学校教育課長、畠学校教育課長補佐、  
相田教育総務課施設係長

- 傍聴人の数：0人
- 会議の公開・非公開の別：公開
- 議事

### 1 開会

### 2 議題

○勝又座長が欠席となったため、内藤職務代理が座長代理として議事進行を行う。

(1) 坂小学区内の児童の保護者等への意見聴取(アンケート)について

○資料に沿って事務局より説明

(意見の要旨)

委 員：参考資料①の、複式学級の特例措置は令和5年度までになっているが、これは令和5年度だけなのか？

事務局：静岡県の特例措置による加配は単年ごとに決定される。令和5年度までは特例措置が決定されたが、その後は未定。ただ、近年しばらく加配は続いてはいる。

委 員：参考資料①について、令和8年度の1年生、2年生に「複式の可能性がある」となされていない理由は。

事務局：一年を含むときは8人以下になった場合に複式となるため。

委 員：児童の途中転入転出というケースはよくあることなのか。

事務局：ケースとしてはまれである。ほとんどの児童は一年生として入学してきた学校に6年間通学する。

第2回坂小学校あり方検討会  
令和5年3月13日(月)19:00～

委員：年度途中で児童が転出等で減ってしまい、複式学級基準となった場合にはどうなるのか。すぐ複式となるのか。

事務局：毎年4月7日が基準日であり、その日の児童数で複式学級となるかどうか判断される。4月7日以降に児童数が減って複式学級の基準となったとしてもすぐに複式学級とならず、次の年の4月7日の児童数で判断される。

委員：アンケートについて、この方法で出すのはよいが、自由記述なので書けない人がいると思う。そのような方のためにヒアリング形式で聞き取るようなことをするのはどうか。

事務局：ヒアリングをする要望があれば、やり方も様々な手法があるため、手法も含めて検討したい。

座長：それでは、4月に保護者向けにアンケートを実施するというところでよいか。  
○委員からは特に異議無し。

(2) その他

座長：4月にアンケートを実施し、その後あり方検討会が実施される。今のところ、来年度には方向性を決定したいと考えている。自治会長はここで変わってしまうと思うが、変わってしまうと一から検討会の流れを理解してもらう必要が生じる。できれば来年度も継続して委員になっていただきたいと思うが、いかがか。

○自治会長については、出席委員の全員が来年度も委員を継続することに同意した。PTAからの3名は、来年度の役員に引き継ぐこととなった。

3 事務連絡

事務局より、来年度のおおまかなスケジュールと、報償についての説明。

4 閉会